

平成30年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名		財務会計演習Ⅰ		担当教員	廣瀬 郁雄		
	英語授業科目名		Financial accounting seminarⅠ		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1 年次	クラス指定	なし		他との関連	財務会計特論 A B		
履修条件	財務会計特論 A・B を同時に履修すること							
テーマ・副題	わが国会計実務の現状とその問題点分析について							
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	この授業は、財務会計を研究するなかで 2 年次に履修する「財務会計演習Ⅱ」における修士論文のテーマを見つけ出すことを教育目的・目標とする。							
授 業 の 理解度の 到達目標	次年度の「財務会計演習Ⅱ」につなげる修士論文のテーマ（論点、課題など）を決定することが授業の達成目標となる。							
授業キーワード	国際会計基準、企業会計基準							
授業の内容	わが国の財務会計制度は、従来、会社法会計の確定決算に税務政策を取り入れた税務会計が結びついた確定決算主義会計と、これに投資家保護を主目的とした金融商品取引法が相乗したトライアングル体制と呼ばれる日本特有の会計構造が久しく採用されてきた。しかしながら、21 世紀に入り、このようなわが国特有の会計構造に国際会計の波が押し寄せ、わが国の財務会計制度に大きな影響を及ぼしてきている。したがって、この授業では、このような国際会計の波がわが国の財務会計構造にどのような影響を及ぼし、またどのような問題をもたらしているかを考察する。							
授業の方法	各回の課題ごとに担当者を決め、その担当者の発表を中心にその内容を討議形式で授業を進めていく。							
授業展開	最近発刊されている会計専門誌で取り上げられている会計問題や会計事例を課題に、発表担当者を中心に取り上げられた課題の問題点を整理したうえで、その解明を探ることとする。				なお、財務会計演習Ⅱの授業と同時に行う場合には、2 年次学生の修士論文の報告について意見交換を行っていく。			
成 績 評価方法	課題の取り組み方、授業での発表状況および授業態度などを総合して評価する。							
成 績 評価基準	課題に対する発表及び積極的な討論することが重要である。 なお、出席状況が 60% 未満である場合には、成績評価が不合格になる場合がある。							
テキスト	特に指定しない。							
参考図書	会計専門誌；企業会計、税経通信、会計・監査ジャーナル、経営財務など							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	各自の研究論文テーマ（論点、課題など）に対して、発表担当者は発表内容の作成並びにその発表に対する予習を充分にしておくこと。							
学生へのメッセージ	この講義を通じて修士論文のテーマ（論点、課題など）を早めに決定するように心掛けること。							
オフィスアワー	主に下記に示したメールでもって質問等を受けることにする。							
連 絡 先	電話番号	0274-42-2828		メールアドレス:	hirose@ic.jobu.ac.jp			
人数制限	なし							